

Information

人間があらわしてきた自然のすがた

自然という書物 15～19世紀のナチュラルヒストリー&アート

本展では、15世紀から19世紀までの西洋の「ナチュラルヒストリー＝自然誌／博物学」と「アート＝美術／技芸」のつながりに着目し、さまざまな時代の版画の展示を通して人間が紙上にあらわしてきた自然の図解表現を紹介する。古より人間は、動植物や地球上の地勢・地質といった自然物や自然環境を、言葉と絵を用いて記録してきた。中世ヨーロッパの想像上の自然物や15世紀の実際的な植物の描写に始まり、活字と版画などの印刷技術、望遠鏡や顕微鏡といった光学機器の発達により、徐々に変化していった人間の自然に対するまなざしを辿っていく。

会期：2023年5月21日(日)まで

会場：町田市立国際版画美術館 (東京都町田市原町田 4-28-1)

開館時間：10:00～17:00(土日祝日は17:30まで)

観覧料：一般900円、高校・大学生450円、

中学生以下無料

休館日：月曜日



終わりのない物語、1868年、木口木版(多色)。エレンア・ヴィア・ポイル(画)。町田市立国際版画美術館蔵。

【読者プレゼント】

本展のご招待チケットをプレゼントいたします。

【応募要項】

当選者数：5組10名様

応募方法：本誌付属の読者アンケート「本誌に対するご意見・ご要望」欄にご招待チケットへの応募ご希望の旨を記載してください。

応募締切：4/21(金)必着

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※当選に関するお問合せにはお答えできません。

※賞品は読者アンケートにてご記載いただく住所へ郵送いたします。



若き日のプーチン大統領

©Vertov, GoldenEggProduction, Hypermarket
Film-ZDF/Arte, RTS/SRG, Czech Television 2018

権力者の素顔を目の当たりにする

プーチンより愛を込めて

上映期間：4月21日(金)より池袋シネマ・ロサ、

アップリンク吉祥寺他全国順次公開

監督：ヴィタリー・マンスキー

配給：NEGA

プーチン大統領はいかにして権力を握り、現在の統治国家を築き上げたのか。ヴィタリー・マンスキー監督は、引退を宣言したエリツィンの指名を受け、プーチンが大統領代行に就任してからの1年間を追った貴重な映像を編集して1本のドキュメンタリーを完成させた。大統領選挙活動では大統領選挙への出馬表明をせず、公約を発表しないまま大統領代行としてロシア各地へ足を運び、諸問題の解決、第一次チェチェン紛争の「英雄」たちへの慰問や恩師との再会を演出したプーチンのPRチームは、国民が抱く彼のイメージを「強硬」から「親身」へと変化させる。PR用の選挙活動の映像や、エリツィン元大統領の自宅での貴重映像を辿ることで、控えめな印象だった彼のペールの奥に隠されていた冷徹な権力者の本性が見えてくる。